

A-1 都心の水辺 E ボート・クリーンアップ作戦

講師	橘 昌憲	参加費：3000円
所属・肩書	RAC ファンクラブ チーフガイド	
分科会概要	<p>江戸時代に開削され今に残る「北十間川」を中心に、E ボートで巡りながら、水際のゴミ拾いを行います。今回は収集ゴミの分類等まで行い、ゴミゼロを目指すためのアイデアを共有します。</p>  <p>さて、今回はどんなドラマとなるのでしょうか！？</p> <p>※集合場所まではご自身で移動していただきます</p>	
プロフィール	<p>“みかん”のキャンプネームで楽しい川遊びを伝えに日本各地の川に出向いています。</p> <p>出先で水路、水辺を目にするとついつい吸い寄せられ、覗き込んでしまいます。あ、魚がいる！水草ある～。カエルだ！！そんな小さな喜びを楽しんでいます。</p>	

※本分科会は長時間のプログラムのため、こちらにお申し込みの方は次ページ以降に記載する同日の分科会（B、C）には参加できません。

B-1 “好きな事”を究めるということ

全体会
パネリスト

講師	岩間 杏美
所属・肩書	(一財)福岡市油山市民の森協会自然観察センター 非常勤
分科会概要	<p>突然ですが、発表者である私は“きのこ”が好きです。食べるのも、探すのも、調べるのも日常茶飯事です。“好き”を究める事は人生において強い自信となっていきます。私をひとつの例としてご紹介していきます。そして、実際に外で散歩をしながら“好き”なことについて語り合いませんか？</p> 
プロフィール	<p>きのこ愛好家。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きのこの個展（ワークショップやスケッチの展示など）を4回実施。(福岡県)、2018年大阪自然史博物館でスケッチを展示。 ・2018年各地のきのこ研究者を訪ねたりスケッチをしながら、“日本一周きのこ旅”を実施。 ・就職しながらもほぼ毎日きのこの記録をおこなっている。

B-2 「思い」を大いに語り合おう！

全体会
パネリスト

講師	小倉 宏樹
所属・肩書	よみたん自然学校・代表
分科会概要	<p>自然体験活動を行うにあたって、一番大切なのは私自身の「思い」。そして、それを「カタチ」にしたものがアクティビティやプログラムです。この分科会では、それぞれの「思い」を大いに語り合いたいと思います。そして、その「思い」を「カタチ」にするヒントも出し合いましょう。</p>
プロフィール	<p>2004年よみたん自然学校を開校。日常の体験に意味があると考え、赤瓦の古民家を学び舎に、3年保育「幼児の学校」、フリースクール「小学部」の平日学校事業を主軸にしつつ、週末イベント&長期休暇キャンプ事業、ちんすこうづくり体験の観光事業を行う。ジャパンアウトドアリーダーズアワード (JOLA) 2018 大賞を受賞。</p>

B-3 環境クラフトプログラムのご紹介

講師	吉原 秀和	参加費：1000円
所属・肩書	相田化学工業株式会社 銀粘土技能認定者、環境クラフト指導員	
分科会概要	<p>環境クラフトは「銀粘土体験」と「環境教育」をセットにしたプログラムです。銀粘土体験では、粘土状になった銀粘土を使い、誰にでも手軽に世界で一つだけの純銀アクセサリー作りを体験できます。「環境教育」では、銀粘土の素材である銀をはじめとした貴金属リサイクルや、都市鉱山について学んでいただける内容です。今回は自然の葉っぱを使いペンダントトップ、ストラップを制作します。(2cm程度の葉脈が分かる葉っぱを何種かご用意ください)</p>	 
プロフィール	多摩美術大学卒。1999年からアートクレイシルバーの講師として活動を始め、油彩画や陶芸の経験を生かしたアクセサリー制作を行なう。NHK「おしゃれ工房」などテレビや雑誌等で広く紹介され反響を呼ぶ。現在、アートクレイ工房マネージャーとして講師の育成をサポート。	

B-4 身近な自然を全力で楽しむネイチャーゲーム

講師	ネイチャーゲーム指導員
所属・肩書	公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会
分科会概要	 <p>ネイチャーゲームは1979年にアメリカで生まれた自然体験プログラムです。オリンピックセンター内の初夏の自然を全力（と言っても走ったりはしませんよ）で楽しむプログラムを体験していただきます。童心と好奇心を持ってご参加くださいね。</p>
プロフィール	当日はネイチャーゲーム指導員が講師となります

C-1 発達障がい症状改善キャンプから 見えてきたもの

講師	田口 眞嗣
所属・肩書	一般社団法人天才の卵 代表理事
分科会概要	「症状改善キャンプ」とは発達特性をもった子ども達（一般社団法人エジソン・アインシュタインスクール協会に登録し改善トレーニングを受講している生徒様）を対象に、食育、知育、森育をバランスよくプログラミングした宿泊型キャンプであり、その内容と効果・課題について解説いたします。
プロフィール	1961年大阪府出生。現在長野県白馬村在住。1999年より野外教育を業とし、人材育成、行動変容を生み出すトレーニングキャンプを幼児から高齢者を対象に実践している。JICA野外訓練プロデューサーや外務省受託事業アジア諸国オリンピックチーム研修講師などを務めながら野外教育施設やリゾート地などのプログラム開発、リスク管理事業に従事している。

C-2 自然体験活動×SDGsで自然をもっと楽しもう！

講師	増田 直広
所属・肩書	公益財団法人キープ協会 環境教育事業部 主席研究員
分科会概要	現代社会の大きなキーワードとなっているSDGs（持続可能な開発目標）ですが、大切な考えであるのはわかるけれど、何やら難しそうという声も聞こえてきます。本分科会では、改めてSDGsの基本的な考え方を学ぶと共に、自然体験活動にその視点を入れる際の要点を皆さんと意見交換したいと思います。
プロフィール	公益財団法人キープ協会環境教育事業部主席研究員、NPO法人自然体験活動推進協議会理事。自然体験型環境教育やインタープリテーションをベースに自然体験活動の実践／研究を行う。持続可能な地域づくり、体験型観光まちづくり、幼児環境教育、エネルギー環境教育などにも関わる。

C-3 災害支援の報告とこれから

講師	相澤 久美
所属・肩書	一般社団法人 RQ 災害教育センター 理事
分科会概要	東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨災害等の現場における様々な支援事業について改めて検証すると共に、自然体験活動に従事する者としての日常的な備えについて研究する。
プロフィール	6年間米国で学ぶ。'97年より設計事務所主宰。編集、映画製作、災害情報誌の発行、被災地支援を行う。'17年より NPO 法人みちのくトレイルクラブ、RQ 災害教育センター理事等兼務。ジャンルを横断し「生きる力をつける」、「命をつなぐ」ための活動を続けている。